

「陽気ぐらしとは」

皆さん、こんにちは。天理教には、「陽気ぐらし」という言葉があります。「毎日笑って暮らすことですか」と聞かれることがあります。が、それだけではありません。人生には、病気になることもあります。思い通りにいかないこともあります。悲しい別れや苦しい出来事もあります。そのようなことが一つもない人生を、陽気ぐらしというのではありません。では、陽気ぐらしとは何でしょうか。それは、どんな中にも感謝を見つけ、人を思いやり、助け合って生きる暮らしです。

天理教では、人間は親神様の子どもであり、世界中の人は皆きょうだいだと教えていただきます。家族だけが幸せならよい、自分だけが幸せならよいという生き方ではなく、お互いに助け合い、喜び合って暮らす世界。それが陽気ぐらしです。世の中では、「幸せになるためには何を持つか」が話題になることが多いですが、天理教は、「どんな心で生きるか」を大切にします。感謝する心。人を許す心。人を喜ばせようとする心。そして、人をたすける心。そんな心を少しずつ育てていくことが、自分の幸せにもつながっていきます。今日、家族や職場で、一つでも人が喜ぶことをしてみませんか。その小さな一歩が、陽気ぐらしへの第一歩になるかもしれません。

ありがとうございました。